



「居宅介護支援事業所」
の外観(上)と内観



在宅診療 NOW

これはフランスで生まれたケア方法で「見る、話す、触れる」といった人間なうではの包括的なコミュニケーションとケアです。今回は、事務の阿南が担当します。

先日、「ユマニチュード」と「ミュニケーション」の立・自己の尊厳を実感できる「立つ」ことの援助を行ったのです。認知機能の低下によって失われかけた尊嚴を取り戻すことについてお話を伺う機会がありました。ユマニチュードは、特に認知症の患者は、ほとんど喋り

の方に対するケアで注目

され、テレビ番組などで取り上げられています。

方の話がありました。

ず気難い顔であらゆる心感を持つのが、拒否する

ことが減ったとのこと

でした。

この方の担当スタッフ

さんはユマニチュードを

学ぶ機会があり、普段の

会話の不安を和らげることが

でき、その結果、ケアをす

ます。今後は専門職

の作業をしながら話しかけるスタッフの負担も軽減

されます。今後は専門職

の間だけでなく自宅で介護をしていらっしゃるこ

とに気づいたスタッフさ

家族にも学ぶ人が増えそ

人は、まず目を見て、これ

うな予感がしています。

から何をするか話しかけ、

反応を見てから介助をす

るよう心がけたそうです。

すると、目を見て話すこと

で「まだ早いな」と気付けたり、ケアされる方も「自分の気持ちに気付いてもらえた」という安

☎ 042-439-1250
西東京市東町 4-14-18-2F
(訪問中のため不在が多い)
■電話対応：午前 9:00～午後 6:00
■定休日：土日（祝日は診療）
■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部
まつばらホームクリニック <input type="button" value="検索"/>
※ 2018年4月、名称が「医療法人社団凌凌会 まつばらホームクリニック」に変わりました



↑ 診療相談は
こちらから